

科目名	期別	単位数	開講年次	担当教員名
(新)(旧)家事事件関係法	前期	2単位	(標) 1年 (既) 1年	松嶋 道夫

授業目的	家族法に関する法律から 15 課題を選び、家族法の事件処理に関する重要事項を学習対象とする。学習内容は、戸籍法 3 回、家事事件手続法 3 回、家族法との融合課題 2 回のほか、新しく法律学においてジェンダーが問題となる課題 7 回を考える。家族法周辺の素養を深め、家事事件の問題解決能力を補強することを目的とする。	
達成目標	家族法と特別法が融合する課題、法律学におけるジェンダーの課題、家事事件の手続法、戸籍法について基礎知識、基本判例を理解し、家事事件の紛争解決能力を高めることを目標とする。 具体的には、①戸籍法と調停・審判の関係法、人事訴訟法等の概要と基礎理論、法解釈・実務処理の基本的技法を取得する、②判例・事例研究により論点整理と法的推論・分析力を深め、事案解決能力を取得すること、③プライバシーの保護やジェンダーの理解を深め、人間関係の調整能力を取得することを目指す。	
授業計画と予習事項	各回タイトル	各回授業内容
	1 戸籍法(1)氏名と戸籍	①戸籍の歴史、②戸籍編成の仕組み、戸籍筆頭者、③夫婦の氏、氏の取得・変更、子どもの名前、③重婚的内縁の子の氏の変更(家族判例百選 7 版・68)などの問題を理解する。 予習事例:「子の氏の変更」梅澤 彩司法書士 2009.6.50、東京地判平 5.11.19 判タ 835.58。東京家八王子支審平 6.1.31 判時 1486.56
	2 戸籍法(2)家族の身分形成と戸籍	①婚姻・離婚の戸籍、和解離婚と戸籍、失踪宣告の取り消し(重婚)と戸籍、 ②性転換をすると戸籍はどうなる。③不受理申立と戸籍、 予習事例:横浜家審平 13.6.11 家月 54.12.69、判タ 1125.106、東京高決平 17.5.17 家月 57.10.99、性同一性障害と戸籍実務の取扱い・戸籍時報 571.29、戸籍 761.1、時の法令 1828.53
	3 戸籍法(3)戸籍と住所戸籍変動、続柄	①出生届、②女性が非嫡出子を産むと戸籍が変わる、非嫡出子の戸籍・続柄記載など ③転籍と分籍(『女性と戸籍』165)を検討。 ④除籍と改製原戸籍、相続人廃除と戸籍。 東京高決平 17.3.24 判時 1899.101、大阪高決平 18.11.30
	4 戸籍法(4)虚偽の出生届と戸籍訂正	①養子縁組と戸籍。②虚偽の嫡出子出生届と親子関係不存在確認訴訟。③縁組意思を欠く養子縁組によるキャッシングカードの不正利用(東京地判平 15.1.31 判時 1838.158)市町村長の告発(戸籍 753.51) ④虚偽の出生届戸籍の訂正手続き、戸籍の再製。 予習事例:最判 18.7.7 判時 1966.58、戸籍時報 576.128
	5 戸籍法(5)戸籍のない子、住民登録	①離婚後 300 日問題と戸籍(戸籍時報 617.2、戸籍 801.31)、②戸籍のない子(『戸籍・国籍と子どもの人権』127) ③戸籍と住民登録、戸籍の開示、住基ネットと戸籍(大阪高決平 18.11.30)、
	6 戸籍法(6)国際結婚と戸籍	戸籍と身分登録、外国人と結婚した場合の戸籍、国際結婚・離婚と子供の戸籍・国籍、日本人同士の外国での婚姻と戸籍、在日外国人の戸籍は受理されるか、帰化の要件は、在留資格など。東京高決平 18.9.29 判時 1957.20、最判平 19.3.23 家月 59.7.72 木村三男「涉外戸籍をめぐる諸問題」ケース研究 256.54、涉外戸籍の編製・戸籍 789.80
	7 子どもの社会保障	家族法と関連する社会保障の課題を考える。格差社会の進展で家庭の貧困化が拡大し、子どもの貧困が深刻化している。格差社会、子どもの貧困、母子家庭の現状、児童扶養手当、生活保護などの問題と子どもの社会保障の現状を考える。
	8 高齢者の財産管理、介護と扶養	判断力が弱い人の財産管理・権利擁護の支援制度、悪徳高法による消費者被害をめぐる法律問題を考える。大阪高決平 1.3.31 判タ 707.191 介護と扶養の問題を考える。
	9 夫婦財産・離婚と税法	家族と税の基本問題を考える。財産分与と課税の判例の検討、夫婦稼得の確定申告と課税(最判昭 36.9.6 家族百選 7 版 20)、相続税の概要、配偶者控除、所得税法 56 条問題 最判平 1.9.14 判時 1336.93 最判昭 36.9.6 民集 15.8.2047
	10 社会福祉と子ども・児童虐待	児童虐待と子どもの親権、児童相談所のかかわりと里親・社会的擁護の問題を考える。 ①母出産直後から育児困難で施設入所後里親委託、実母が引取り請求②児童虐待で児童福祉施設保護と脱走を繰り返し父との同居を拒む子と祖母の監護権に認否。 予習事例:仙台高決平 12.6.22 家月 54.5.125、福岡高決平 14.9.13 判タ 1115.208。 参考判例:名古屋高決平 17.3.25 家月 57.3.25
11 家事手続と家事調停	家事調停制度及び調停委員の職務と心構え、調停方法。主な事項は、家事事件の概況、調停前置主義、調停委員会の運営、家事審判官への報告・評議、家事調停の進め方、調停処理の方法、調停成立、不成立の効力を考える。家裁調査官、参与員 坂梨「家事調停の理論と技法について」福岡調停会報、「財産分与をめぐる今日的考察」ケース研究 284.120、	

12 家裁の審判による解決	家事審判について学ぶ。甲類事件、乙類事件、合意に相当する審判 (23 条)、調停に代わる審判 (24 条)、異議申立、乙類審判の合憲性、家事審判の手續きと効力。 予習事例：徳田「家事審判の既判力」判タ 1100.582
13 家事事件の処理・人事訴訟	調停手続と訴訟手続、人事訴訟の受理要件、土地管轄、訴訟進行と照会、口頭弁論の準備と運営、付帯処分等の争点整理、準備書面・書証の提出、調停記録の取り寄せ・送付嘱託、参与員、証拠調べ、人事訴訟における事実調査、記録の閲覧、和解離婚などを学ぶ。 予習事例：東京家裁家事 6 部編『東京家庭裁判所における人事訴訟の審理の実情』判例タイムズ社、2006 年。「家裁で人事訴訟の運用状況」ケース研究 284.27。
14 老後の財産管理・跡継ぎ遺贈と遺言信託	高齢者の財産問題を考える。①新信託法の遺言信託の概要を学ぶ。あわせて信託に類似する遺言処分としての後継ぎ遺贈について考える。②高齢者の財産管理を考える。 最判昭 58.3.18 判時 1075.115、金沢地判昭 63.10.14 判時 1290.29、最判平 5.1.19 民集 47.1.1 ②相続債務がある場合の遺留分侵害額の算定方法。
15 子どもの養育費・養育保障	①子どもの養育費をめぐる裁判と養育保障の確立の問題を考える。 参考文献：松嶋道夫「子どもの養育費の算定基準、養育保障はいかにあるべきか」（久留米大学法学 64 号）
授業方法・予習上の留意点 (各回指示以外) 自習事項	予習・自習が行われていることを前提に授業を行う。授業の 4~5 日前には、予習のための「学習のポイント」を配布する。授業の当日、学習状況確認の質問と応答を行いながら授業を進める。授業レジュメ（「学習のポイント」の解説）は当日配布する。対話を含めた授業を行うが、事例の検討では双方向の議論を求めることがある。なお授業の終わりに、理解度を図る小テスト（択一 2 問程度）を行なうことがある。
評価方法と評価基準 (期末試験・レポート等)	期末試験 70%、小テスト 20%、授業の予習と発言の程度 10% (欠席は -1 点) の割合で採点する。成績評価は、法科大学院に求められる客観的学力水準にどこまで達しているかで判断する。
テキスト 独自教材による	テキストは独自に作成した教材と関連文献のコピー資料を教材とする。少なくとも授業の 1 週間前には配布する。
参考書 (3~5 冊)	授業内容が多面にわたるので、適宜参考資料を配布するか、参考文献を提示する。